

磐城時報

本報發行所 磐城郡平田町
印刷所 加納印刷所
電話 磐城郡平田町
代印所 磐城郡平田町
代印所 磐城郡平田町
代印所 磐城郡平田町

平小鐵道の路線は 十年で實測決定 路線は海岸線が有望 平・小名濱兩町長の喜び

地方民の待望久かつた平小鐵道建設案は昨報の如く十年で實測し十一月度から着工、十三年度には完成する事になったが路線は鹿島、玉川兩村經由の直通とするかまたは飯野、豊間、江名等の片濱を經由する海岸線とするかは十年度の實測によつて決定される譯で鹿島廻りは延長十二キロに對し海岸線は十六キロとなり四キロの差があるが鹿島廻りが山間部を通過し隧道を數ヶ所掘鑿する困難あるに對し海岸線は殆ど平地の上旅客及び物資輸送の経済力も多いので一般には海岸線を有望と見られてゐる。

青沼平町長談
多年の懸案成つて平小鐵道も正式に決定し將來太平洋と日本海の陸上連絡が出来ることは地方民のため喜びに堪へぬ。此上は産業經濟の發達をはかり交通機關の有効適切な利用策を講ずることが大切で石城の産開發に貢献するところ甚大である。

石城の漁業組合長

農林省に陳情

底曳漁業の規則改正に 縣水産業に大打撃

本縣下における二十噸未満の汽船漁業では省令を以つて二十噸船底曳網漁業家は百三十名(百未満の漁船に對して底曳漁業を三十七隻)に達してゐるが今回許可せぬこととなり従つて從來

一ヶ月延長して十月三十日までとし漁業家としては莫大な犠牲を拂ふ故二十噸未満の汽船底曳漁業を黙認してもらひたいといふのであるが本縣における二十噸未満の汽船底曳による漁獲高は一ヶ年の水産省調査によつて八十四萬圓を占め約五割を占めてゐる程で若し從來の底曳漁業が停止せざるれば本縣の漁獲高は二百萬に低下することになる。石城郡高久村大字下高久字原のた。選手は各校五名宛とし尋常高等の兩部に分ち試合の上個人賞の外優勝校に優勝旗を授與す

高久村の畑から 珍らしい土器發掘 磐高女校に寄附

石城郡高久村大字下高久字原のた。選手は各校五名宛とし尋常高等の兩部に分ち試合の上個人賞の外優勝校に優勝旗を授與す

死んで詫ぐる
女中家出
郡南山間方部の
常習賭博を檢舉

理髮組合總會で 優良店舗徒弟表彰

平警察署管内理髮業組合總會は十日午前十時から平警察署に開き決算報告役員改選の後優良店舗、優良徒弟を表彰したが表彰されたもの、内平町の分左の如くである。

追出された後妻
性源寺で倒る
平町から謝電

少年剣道夜會 期日變更

横山平警察署長は武徳會平分會の名に於て管内小學兒童の剣道大會を開催する事昨報の如くであつたが二月十一日午前十時から第三小學校に開く事に變更し

馬鹿を見た
江名の漁夫

料理屋總會

小名濱源寺で倒れたものと判明した。

縣稅滯納

平町に於ける九日現在昭和九年度縣稅滯納額左の如く稅務出張所に廻した
△地租賦課稅一六二名、一七六
八四六〇錢、△特別地稅四名
四五六圓、△雜稅稅月稅十四
名十六圓八〇錢、△雜稅稅隨
時稅二名七圓二〇錢、△雜稅
入稅過年度收入五名二五圓二
六錢、△雜稅稅季稅期九名二
〇圓、△蠶糸賣買業稅七名四
〇圓七七錢

和洋銅鐵金物問屋

久 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九九

理想的強壯榮養料

血肉トローゼ

高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。
適血少なく顔色悪き人、胸おどろ
應心臓弱き人、大病又は産後の衰
症弱過勞疲勞又は天性虛弱者
小兒の榮養不良
特に病氣見舞には最的品

特約店 **大平屋藥店**
平町一丁目 電話六四二番

貨切の御用命は

電話六四〇番

尼子タクシーへ!

是非御願ひ致します

……遠乗は特に御相談に應じます

徒弟數名

至急募集

委細面談

加納活版所

RESTAURANT. TEA AND WINE

洋食 喫茶

コンパル

平町電六六六番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士鈴木正男

平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

(入院のお需めに應ず)
(自炊の便あり)

内科 小兒科

花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

嚴冬の征服者

福祿ストーブ

電話三七番へ

カタロク御申越下さい
早速持參致します

平停車場前

福祿ストーブ

阿部石炭店

福島縣一手販賣

耳鼻咽喉科専門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 **大和田醫院**

電話一七〇番

吉田眼科病院

平町紺屋町(電話六八番)

安全剃刀

自動研皮付

芳香園理髮器具店

平町前(電話六八〇番)

耳鼻咽喉科専門

診療開始 十二月十七日

高柳耳鼻咽喉科醫院

醫學博士 高柳博明

平町驛前(電話三三六番)

産科 婦人科 外科 藥局

院長 木村寅次郎

醫學博士 内木宗八

藥劑師 玄蕃彌一

平町新川町十九

木村病院

電話一六四番